

国際交流拠点ネットワーク推進事業報告書

友好都市締結 20 周年記念事業

派 遣 先
カナダ レスブリッジ市

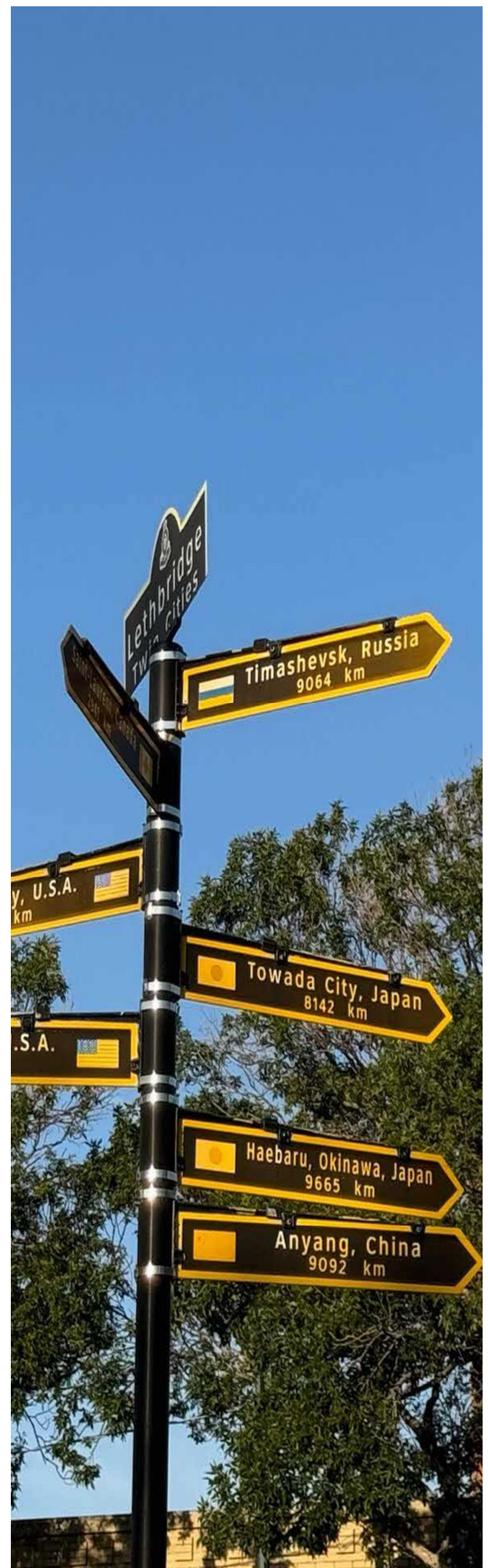
派 遣 期 間
令和 6 年 9 月 1 日（日）～ 9 月 6 日（金）



南 風 原 町

目 次

派遣者名簿	・ ・ ・ ・ 1
派遣日程	・ ・ ・ ・ 2
事業報告	・ ・ ・ ・ 3
派遣報告	・ ・ ・ ・ 33
交流のあゆみ	・ ・ ・ 47
新聞掲載記事	・ ・ ・ 48



派遣者名簿

No	氏名	団体・役職等	役割
1	アカミネ マサユキ 赤嶺 正之	南風原町長	団長
2	アカミネ ナツエ 赤嶺 奈津江	南風原町議会議長	副団長
3	オオヤマ セイシン 大山 盛稔	沖縄カナダ協会会長	コーディネーター
4	キンジョウ ヒロタカ 金城 宏孝	南風原町商工会会長	特産品 P R
5	トヨサト ユウイチロウ 豊里 友一朗	南風原町商工会	
6	ウエザト アキヒロ 上里 彰宏	南風原町商工会	
7	カミヤ ナツキ 神谷 菜月	琉球絃の女王	
8	ノゾエ サラサ 野添 更紗	琉球絃の女王	伝統芸能披露
9	ヨナミネ ヤスシ 與那嶺 靖	南風原町文化協会（三線）	
10	オオシロ モリマサ 大城 守政	南風原町文化協会（三線）	
11	ウエチ ケン 上地 健	南風原町文化協会（三線）	
12	オオシロ 大城 みゆき	南風原町文化協会（太鼓）	
13	タカミネ ヒサエ 高嶺 久枝	南風原町文化協会（舞踊）	
14	スナガワ ミスズ 砂川 美鈴	南風原町文化協会（舞踊）	
15	ナカモト カズミ 仲本 和美	南風原町文化協会（舞踊）	
16	アカミネ カオリ 赤嶺 香	南風原町文化協会（舞踊）	事務局
17	タマナハ カズヒコ 玉那覇 和彦	南風原町企画財政課長	
18	ヨザ モア 與座 萌彩	南風原町企画財政課	
19	ヤギ ヤストシ 屋宜 泰利	南風原町産業振興課	
20	ミヤギ ユイ 宮城 由衣	南風原町産業振興課	添乗員
21	キンジョウ チヨカズ 金城 千代和	国際旅行社南部観光センター	

派遣日程

2024年 9/1(日)～9/6(金)

	月 日	時間	日程	備考
1	9月1日(日)	7:00	那覇空港、国内線ターミナル集合	
		8:55	那覇発、スカイマークSKY512便にて羽田へ	
		11:20	羽田空港着 リムジンバス又は貸切バスにて成田空港へ 成田国際空港到着	
		18:30	成田発、ウエストジェットWS81便にてカルガリーへ 日付変更線通過	
		12:44	カルガリー国際空港着	
		14:00	専用車＋荷物車でレスブリッジ市へ 〈Lethbridge Hotel〉	
2	9月2日(月)		レスブリッジ滞在	
		8:30	専用車でレスブリッジ近郊の視察	
		9:00	マウントビュー墓地・アーチマウント墓地訪問	
		10:00	日加友好ガーデンと文化センターを視察	
		17:00	ホテル着 〈Lethbridge Hotel〉	
3	9月3日(火)		レスブリッジ滞在	
		9:00	レスブリッジ市役所訪問	
		12:30	式典準備	
		15:30	記念式典 〈Lethbridge Hotel〉	
4	9月4日(水)		レスブリッジ滞在	
		9:00	世界遺産 Head-Smashed-in Buffalo Jump視察	
		14:00	世界遺産 ウォータートン国立公園視察	
		17:00	ホテル着 〈Lethbridge Hotel〉	
5	9月5日(木)		レスブリッジ滞在	
		8:00	レスブリッジホテルからカルガリー空港へ専用車で移動	
		11:00	ヘリテージパーク視察	
		15:10	カルガリー発、ウエストジェットWS80便にて成田へ 日付変更線通過	
6	9月6日(金)	16:25	成田空港到着	
		20:05	羽田発、日本航空JAL925便にて那覇へ	
		22:30	那覇空港到着	

事業報告

9月1日(日)から9月6日(金)までの6日間、国際交流拠点ネットワーク推進事業として、町長、議会議長、町商工会並びに町文化協会、琉球絃の女王、沖縄カナダ協会、企画財政課職員並びに産業振興課職員の計20名がカナダ レスブリッジ市を訪問しました。

本事業は、令和5年度(2023)で友好都市締結20周年を迎えたことから、今後も更なる相互交流を深めるため町内の伝統芸能披露や町の物産をPRし、青少年の交流のみならず、文化交流、産業振興に繋げるとともに、観光誘客及び販路拡大を図ることで、交流ネットワークを生かす国際交流拠点の形成を図ることを目的としています。

【9月1日(日): 移動日】

成田空港からカルガリー空港までは約9時間の移動時間となりました。カルガリー空港では、カルガリー県人会の皆さんが盛大に歓迎してくださいました。



【9月2日(月) 沖縄県系移民墓地訪問】

沖縄県系移民が眠るマウントビュー墓地・アーチマウント墓地を献花・参拝し、移民の歴史について学びました。沖縄からカナダへはじめての移民である牧志安能さんの親族にもお会いすることができ、貴重な機会となりました。



【9月2日（月）日加友好庭園視察】

日本の伝統とカナダの自然が美しく融合している日加友好庭園を訪問し、日本とカナダの国際的な友情等について学びました。



【9月3日（火）市役所訪問】

レスブリッジ市役所を訪問し、市の歴史を学びました。

市役所ホールで伝統芸能を披露し、多くの方に沖縄の雰囲気伝えることができました。

締結20周年の記念として、琉球泡盛「南風原」を贈呈しました。泡盛は年月をかけて熟成させるほど素晴らしい古酒に育つことから、今後も年月をかけて、友好都市の歴史をつくっていききたいという気持ちを込めています。



【9月3日（火）友好都市締結20周年記念式典開催】

レスブリッジ・ロッジホテルにて友好都市締結20周年記念式典を開催しました。

式典では、友好都市締結の功労者や国際交流事業（平成14年から約100人の生徒を派遣）のホストファミリーなどへの謝意を伝えるとともに、町の紹介やこれまでの交流を振り返るなど、さらなる相互交流に繋げることができました。

また、伝統芸能の披露や町特産品のPRを行い、文化・産業・経済における交流を図りました。

町特産品ブースを設け、商品を手に取り試食していただくことで、町産品をより身近に感じてもらえる機会となりました。

伝統芸能披露では、かぎやで風や四つ竹などを披露し、多くの参加者から「沖縄や南風原町の伝統文化に関心を持った」という声が聞かれました。

また、これまでのさまざまな友好交流・活動を写真で振り返るブースを設けました。

式典の中で、友好都市の関係が今後も発展し続けるよう確認書を交わすことができ、互いが友好都市であることを再認識し、今後も継続した相互交流に繋げることができたと感じます。

式典のフィナーレには参加者全員によるカチャーシーがあり、さらに会場が一体となり、式典を終えました。



記念式典

参加者一覧

南風原町	
町長	赤嶺 正之
議長	赤嶺 奈津江
商工会 会長	金城 宏孝
商工会スタッフ	豊里 友一朗
	上里 彰宏
緋の女王	神谷 菜月
	野添 更紗
南風原町文化協会	與那嶺 靖
	大城 守政
	上地 健
	高嶺 久枝
	砂川 美鈴
	仲本 和美
	赤嶺 香
	大城 みゆき
沖縄カナダ協会 会長	大山 盛稔
南風原町職員	玉那覇 和彦
	屋宜 泰利
	宮城 由衣
	與座 萌彩
添乗員	金城 千代和
レスブリッジ市	
市長	Blaine Hyggen
議員	Belinda Crowson
	Jenn Schmidt-Rempel
	John Middleton-Hope
	Rajko Dodic
	Ryan Parker
	Mark Campbell
	Nick Paladino
	Jeff Carlson
シティーマネージャー	Lloyd Brierley
市職員 (City Clerk)	Bonnie Hilford
	Jody Mareella
CFO & Treasurer	Darrell Mathews
Director of Community Services	Carly Kleisinger
Director of Infrastructure Services	Joel Sanchez
Director of People and Partner Services	Nicole Mitton
Director of Legal Services and Solicitor	Brian Loewen
Acting Director of Corporate Services	Robert Ulrich

ホストファミリー	
ホストファミリー (12families)	Al & Linda Daiken
	Jim&Marriion Tomiyama
	Ken ' & Maureen Nakama
	Bob & Kazumi Marthiensen
	Margaret Takahashi
	Rick & Shauna King
	Murry & Tracy Newton
	Reynaldo & Dolores Sultan
	Bonny Johnson
	Renee & Darril Spark
	Kevin & Leanne Ponech
	Pat & Roy Sassa
ゲスト	
ミドルスクール校長	Lloyd Yamagishi
	Craig Brack
	Dean Hawkins
	Jeni Halowski
レスブリッジ沖縄文化協会 会長	Ken Nakama
副会長	Ryan Nakama
秘書	Chiye Kinjo
歴史研究者	Darcy Tamayose
上級顧問	Ayako
	Mary Nishima
レスブリッジ沖縄県民間大使	金城嘉孝
総領事	倭島岳彦
副領事	岡田佳子
日加友好庭園	
日加友好庭園	Michelle Day
協力者等	
Alpine World Tours	横田文夫
	横田京子
	横田加奈子
カルガリー県人会	洲鎌豊

プログラム

友好都市 20 周年記念式典

オープニング ～かぎやで風～

1.開会

2.挨拶

南風原町 町長 赤嶺正之

レスブリッジ市長 Blaine Hyggen

3.友好都市締結書確認式

4.乾杯

5.余興 ～四つ竹、前の浜～

～お食事・歓談をお楽しみください～

6.来賓挨拶

在カルガリー日本国総領事館 総領事 倭島岳彦

レスブリッジ沖縄文化協会 会長 ケン・ナカマ

沖縄カナダ協会 会長 大山盛稔

7.市・町の紹介/交流のあゆみ

南風原町による紹介

レスブリッジ市による紹介

8.特産品の紹介

南風原町による紹介

レスブリッジ市による紹介

9.感謝状・記念品の贈呈

レスブリッジ市、レスブリッジ沖縄文化協会、ウィルソンミドルスクール

ホストファミリー、在カルガリー日本国総領事、レスブリッジ沖縄県民間大使、沖縄カナダ協会会長

～お食事・歓談をお楽しみください～

10.余興 ～かなよー、谷茶前～

全員でカチャーシー

11.閉会の辞

南風原町議会 議長 赤嶺奈津江

Program

The 20th Anniversary Commemoration of the Friendship City Relationship

Opening ~Kajadifuu~

1. Opening remarks

2. Greeting from friendship city

Mayor of Haeburu Town Masayuki Akamine

Mayor of Lethbridge City Blaine Hyggen

3. Friendship city agreement confirmation ceremony

4. Toast

5. Showing traditional performing arts ~Yotudake, Me nu hama~

~Please enjoy the meal and conversation~

6. Greeting from guests

Consul General of Japan in Calgary Wajima Takehiko

President of The Lethbridge Okinawa Cultural Society Ken Nakama

President of The Okinawa Canada Association Seishin Oyama

7. City • Town introduction/Looking back Histories of relationship

Introduction by Haeburu Town

Introduction by Lethbridge City

8. Introduction of specialty products

Introduction by Haeburu Town

Introduction by Lethbridge City

9. Presentation of certificate of appreciation and commemorative gifts

Lethbridge City, Lethbridge Okinawa Cultural Society, Wilson middle school, Host family

Consul General of Japan in Calgary, Lethbridge Okinawa Prefecture Civilian Ambassador,

President of The Okinawa Canada Association

~Please enjoy the meal and conversation~

10. Showing traditional performing arts ~Kanayoo, Tanchame~

Dance together(Kachashi)

11. Closing remarks

Council Chairman of Haeburu Town Natue Akamine

友好都市締結 20 周年記念式典 町長挨拶



皆様こんにちは、南風原町長の赤嶺正之でございます。

本日はお忙しい中、レスブリッジ市と南風原町の、友好都市締結 20 周年記念式典にご出席いただき、誠にありがとうございます。南風原町を代表し、心よりお礼申し上げます。

はじめに、レスブリッジ市長、レスブリッジ沖縄文化協会会長、在カルガリー日本国総領事をはじめ、友好都市締結にご尽力いただいた関係者の皆様、そしてこれまで交流を支えてくれたホストファミリーの皆様に、感謝の意を表します。

レスブリッジ市と南風原町が友好都市の関係を結んだ契機は、2000 年に開催された九州・沖縄サミットです。

当時のジャン・クレティエン（Jean Chretien）カナダ首相を南風原町へ招待するため、南風原町民がカナダの文化を学び、200 人以上の町民がカナダを訪問し、クレティエン首相へメッセージを送るなど、さまざまな取り組みを行いました。

その際は、関係者の皆様に大変なご尽力をいただき、多くの人たちの取り組みの結果、クレティエン首相が南風原町へ訪れ、さまざまな交流が行われました。その後も交流を深め 2003 年にレスブリッジ市と、友好都市の関係を結ぶことができました。

2003 年に友好都市の関係を結んだ以降も、レスブリッジ沖縄県民間大

使の金城嘉孝様やレスブリッジ沖縄文化協会など関係者のご協力により、青少年国際交流事業等を通じて、絆を深めてまいりました。

私も教育長を務めていた 2013 年と 2015 年に、青少年国際交流事業でレスブリッジ市を訪問させていただきました。滞在中、市長をはじめ多くの皆様に歓迎していただき、とても良い思い出となっています。

この 20 年間の歴史は、皆様のご理解ご支援なしでは成し得なかったものであり、その努力と情熱に対して感謝を申し上げます。

20 周年の節目を迎えるにあたり、これまでの交流の軌跡を振り返るとともに、今後のさらなる発展に向けての新たな一步を踏み出したいと思っています。

教育、文化、経済など、さまざまな分野での交流は、私たちの相互理解と友情を深める重要な基盤となっています。これからもお互いの魅力を尊重し合い、共に学び合いながら、新たな歴史を築いていきたいと考えています。

今日ここに集まった皆様とともに、レスブリッジ市と南風原町の友好関係がますます強固なものとなることを願い、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、改めてレスブリッジ市と関係者皆様に感謝の意を表しますとともに、本日の式典が素晴らしいものとなることを祈念いたしまして、私の挨拶といたします。 ありがとうございました。

※2024年 9月3日 友好都市締結20周年式典において署名されました。

The 20th Anniversary of the Friendship City Relationship Friendship City Agreement

Lethbridge City and Haeburu Town entered into a friendship city agreement in 2003, and 2023 marks the 20th anniversary of this agreement.

In this document, we wish to reaffirm our commitment to further promoting our friendly relationship, based on the trust we have built through our past exchanges.

Our ongoing exchanges have created a shared history, built mutual trust, and deepened the connections between Canada, Japan, and Okinawa, contributing to a more peaceful society.

We are dedicated to deepening mutual understanding and advancing our friendly relations through exchanges in various fields such as education, culture, and economics.

On behalf of our respective cities and towns, we hereby sign this document to reaffirm our friendship city relationship.

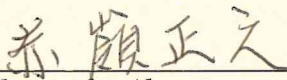
友好都市締結 20 周年記念 友好都市確認書

レスブリッジ市と南風原町は2003年に友好都市を締結し、2023年で友好都市締結20周年を迎えました。これまでの交流を通して積み上げてきた信頼関係を礎として、友好関係をさらに推進するため、この文書において確認します。

私たちの交流の積み重ねは、歴史を作り、信頼を築き、ひいてはカナダと日本、そして沖縄との関係がより深まり平和な社会へとつながります。

私たちは教育、文化、経済などさまざまな分野における交流を通じて、相互理解を深め、友好関係の更なる推進に努めます。

友好都市の関係を再確認するこの確認書に、それぞれの市町を代表して我々はここに署名します。


Masayuki Akamine
Mayor, Town of Haeburu


Blaine Hyggen
Mayor, City of Lethbridge

特産品PR商品一覧

No	商品名	種類	事業者名
1	831ジャム（とまと）	食品	大城野菜生産農園加工所
	831ジャム（へちま）		
	831ジャム（かぼちゃ）		
2	たまごパウンドケーキ（キャラメル）	食品	有限会社美ら卵養鶏場
3	やさいせんべいシリーズ（かぼちゃ）	食品	大城野菜生産農園加工所
	やさいせんべいシリーズ（にら）		
4	小亀せんべい（塩小亀）	食品	玉木製菓
	小亀せんべい（味亀）		
	小亀せんべい（梅小亀）		
5	ウルトラマンのスターフルーツフレーバーティー	食品	松風苑
6	アロマのひやけどめNatural	日用品（日焼け止め）	沖縄子育て良品株式会社
7	おきなわラベンダーバーム	日用品（保湿バーム）	沖縄子育て良品株式会社
8	おきなわティーツリーバーム	日用品（保湿バーム）	沖縄子育て良品株式会社
9	紅型クラフト「せかいにひとつ」	日用品（紅型封筒）	てるしのワークセンター
10	テーブルセンター	伝統的工芸品(琉球絣・南風原花織)	琉球絣事業協同組合
11	ランチョンマット	伝統的工芸品(琉球絣・南風原花織)	琉球絣事業協同組合
12	コースター	伝統的工芸品(琉球絣・南風原花織)	琉球絣事業協同組合
13	ポーチ	伝統的工芸品(琉球絣・南風原花織)	琉球絣事業協同組合
14	琉球絣の靴紐	伝統的工芸品(琉球絣・南風原花織)	琉球絣事業協同組合
15	きもの根付け（キーホルダー）	伝統的工芸品(琉球絣・南風原花織)	琉球絣事業協同組合
16	紅茶リキュール宵の紅茶12% 180ml	酒（リキュール）	瑞泉酒造株式会社
17	5年古酒 30%泡盛「南風原」180ml	泡盛	瑞泉酒造株式会社
18	5年古酒 30%泡盛「南風原」5升壺（シーサー）	泡盛	瑞泉酒造株式会社
	5年古酒 30%泡盛「南風原」720ml	泡盛	瑞泉酒造株式会社

商品説明

瑞泉酒造 5年古酒「南風原 Premium」

泡盛の老舗、瑞泉酒造は琉球王朝時代に酒造りが許されていた首里三箇のひとつである崎山の、長い歴史を誇る泡盛の蔵元。この老舗中の老舗が南風原町とタッグを組んで誕生したのが新酒「南風原」と5年古酒「南風原 premium」の2品。商品のコンセプトは“南風原らしい”味わい。

Zuisen Shuzo 's 5-Year-Aged Sake
"Haebaru Premium"

Zuisen Shuzo, a well-established awamori brewery boasting a long history, is located in Sakiyama, one of the "Shuri Three Places" (Shuri-Sanka) where sake brewing was permitted during the Ryukyu Kingdom era. In collaboration with Haebaru Town, this pinnacle of venerable breweries has introduced two new products: the "Haebaru" new sake and the "Haebaru Premium" 5-year-aged sake. The concept behind these products is to offer a flavor distinctly characteristic of Haebaru.

瑞泉
琉球泡盛



紅茶リキュール宵の紅茶

ひとつひとつ丁寧に手摘みした一芯二葉（いっしんによう）の沖縄県産紅茶葉を使用し、アールグレイの豊かな香りとスモーキーな雰囲気を感じさせる上品な味わいの泡盛紅茶リキュールです。ミルクやジュースそして炭酸割りなど、幅広くお楽しみ頂けます。

Black Tea Liqueur - Evening Black Tea
This elegant Awamori black tea liqueur is made using carefully handpicked single bud and two leaves Okinawan black tea. It has a rich aroma of Earl Grey and a refined taste with a smoky note. It can be enjoyed in a wide variety of ways, such as with milk, juice, or as a carbonated drink.

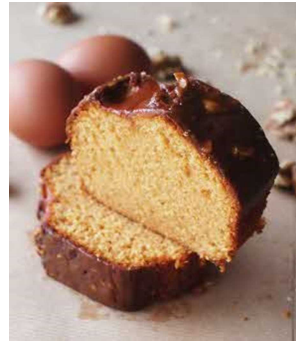


たまごパウンドケーキ (キャラメル)

自社養鶏場から直送される「EM たまご」の卵黄を贅沢にたっぷりと使用することで、ふんわりしっとりしたコクのある生地仕上げました。自家製キャラメルとクルミをトッピングし、更に粗塩をプラスした優しい味わいです。

Egg Pound Cake (Caramel)

By generously using the egg yolks from "EM eggs" delivered directly from our own poultry farm, we've created a fluffy, moist cake with a rich flavor. Topped with homemade caramel and walnuts, and finished with a sprinkle of coarse salt, this cake offers a gentle, delightful taste.



小亀シリーズ

沖縄県民なら誰もが知ってる、カラッと揚げた小麦粉が原料の亀の甲羅の形をしたせんべい。

食べ始めたら止まらないこのせんべいを食べやすいサイズにした「小亀シリーズ」には、お馴染みの塩味以外に「しょうゆ」や「梅味」があります。

Kogame Series

These senbei, shaped like a turtle's shell and made from crispy fried wheat flour, are known by every Okinawan. The "Kogame Series" offers these irresistible crackers in a convenient bite-sized form, available not only in the familiar salt flavor but also in "soy sauce" and "plum" flavors.



野菜せんべいシリーズ

自家農園で栽培された安心・安全なかぼちゃとニラをペーストにし、生地に練り込み、焼き上げたせんべいです。かぼちゃの優しい味わいは小さなお子さまに。風味がクセになりそうなニラは、おつまみにもピッタリ。家族で楽しめる逸品です。

Vegetable Senbei Series

These senbei crackers are made by blending pastes of pumpkin and Chinese chives, both grown in our own garden, into the dough before baking. The gentle flavor of pumpkin is perfect for small children, while the addictive taste of Chinese chives makes for a great snack. It's a delightful treat the whole family can enjoy.



831 (野菜) ジャム

野菜本来の色味や風味を生かし南風原のかぼちゃを使った「カボチャジャム」、沖縄県産のとまとを使った「トマトジャム」、食用ヘチマの生産量日本一を誇る南風原のへちまを使った「へちまジャム」です。

それぞれ素材そのものを丁寧にペースト化し、シークワサー果汁を加えることにより食べやすくしています。

収穫した野菜をすぐに加工することで、着色料や香料を使わなくても鮮やかな色を出すことができます。新鮮×良質な野菜の旨みがたっぷり、口溶けなめらかでヘルシーな野菜ジャムは小さなお子様からご高齢の方まで安心して食べていただけます。

831 (Vegetable) Jam

These jams showcase the natural colors and flavors of the vegetables. The "Pumpkin Jam" uses pumpkins from Haebaru, the "Tomato Jam" features tomatoes grown in Okinawa Prefecture, and the "Sponge Gourd



Jam" highlights sponge gourds from Haebaru, which boasts the highest production of edible sponge gourds in Japan. Each vegetable is carefully turned into a paste and blended with shikuwasa citrus juice for a pleasant taste. By processing the harvested vegetables immediately, vivid colors are achieved without the use of colorings or flavorings. Packed with the savory goodness of fresh, high-quality vegetables, these smooth and healthy vegetable jams can be enjoyed by everyone from small children to the elderly.	
アロマひやけどめ Natural ラベンダーと月桃のアロマの香りに癒やされる「日やけどめ Natural」。敏感肌やお肌の弱い方、生後3ヶ月からの赤ちゃんにもおすすめ。サンゴや海の生き物に悪影響を及ぼさない「人と地球にやさしい日焼け止め」です。月桃をはじめ、沖縄の天然素材を使用しています。石油由来の成分や紫外線吸収剤も無添加なので赤ちゃんも安心！ Aroma Sunscreen Natural "Sunscreen Natural" soothes with the scents of lavender and shell ginger (Gettou), making it ideal for sensitive or delicate skin, and even safe for babies as young as three months. This sunscreen is both human- and earth-friendly, posing no harm to coral reefs or marine life. It features natural ingredients from Okinawa, including shell ginger, and is free from petroleum-derived components and UV absorbers, ensuring safety for babies.	

おきなわラベンダーバームミニ

「おきなわラベンダーバーム」はリラックス効果の高い爽やかでフローラルな香りで、癒しのしっとりお肌に。保湿抗菌性、防水性に優れ、自然治癒効果も高いといわれている沖縄県産のみつろうも使い、さらっと浸透しやすいホホバオイルとしっとりとお肌を柔軟に保ってくれるマカデミアナッツ、さらに保湿力の高いシアバターを配合。浸透するオイル成分とみつろうでお肌をバリアしてくれます。

また、沖縄で古くから親しまれている、抗菌作用がある月桃（げっとう）の精油も配合しています。全身の保湿、お顔の保湿、リップクリームとしてご使用していただけます。

Okinawa Lavender Balm Mini

"Okinawa Lavender Balm" boasts a refreshing and floral scent that is highly effective for relaxation, leaving your skin soothed and moisturized. It incorporates Okinawan beeswax, known for its superior moisturizing, antibacterial, and waterproof properties, as well as its natural healing abilities. The formula also includes jojoba oil, which penetrates the skin effortlessly, macadamia nut oil to keep the skin soft and supple, and highly moisturizing shea butter. The penetrating oil components and beeswax forms a barrier on your skin. Additionally, the balm is enriched with essential oil from shell ginger (Gettou), a traditional Okinawan ingredient celebrated for its antibacterial properties. This balm is suitable for full-body hydration, facial moisturizing, and as a lip balm.



紅型クラフト

沖縄の伝統工芸である紅型の技法を使い、廃棄される段ボールから「手染め封筒」「お祝い袋」などを一つひとつ手作業で丁寧に生産しております。染色チームの一人一人が紅型作家となりその日の感性で異なる色彩を表現しますので、大量生産ができない「せかいにひとつ」だけの一度きりの個性が魅力です。

デザインには南風原町特産品の「かぼちゃ」「ストレチア」伝統文化の「津嘉山大綱引き」、南風原町の偉人である「飛び安里」のイメージを起用しました。



ウルトラマンの

スターフルーツフレーバーティー

松風苑オリジナルのフレーバーティーです。南国風のトロピカルな香りが豊かに広がる紅茶に仕上げました。南風原町の特産品であるスターフルーツの乾燥スライスをお楽しみください。紅茶の企画・製造会社と共同して何度も試作を繰り返し、他にはないオリジナルのフレーバーを作り上げました。機械を使わずティーブレンダー自身がハンドブレンドを行うことで、茶葉の傷むリスクを低減。手間暇をかけて製造されています。

缶のデザインや付録のマグネットカードは『ウルトラマン』『ウルトラセブン』に関連した内容です。

Ultraman Star Fruit Flavored Tea

This is an original flavored tea from Syofuen. We have crafted a black tea with a rich, tropical aroma reminiscent of the southern islands. Please enjoy it with dried slices of star



fruit (also known as carambola), a specialty product of Haeburu Town, floating in your cup. In collaboration with a tea planning and manufacturing company, we went through multiple iterations of trial production to create a unique, original flavor. By using the tea blender to hand-blend the tea leaves, rather than relying on machines, the risk of damaging the tea leaves is reduced. This tea is carefully crafted with great effort. The design of the can and the included magnet card are related to "Ultraman" and "Ultraseven".	
テーブルセンター 花織のテーブルセンターはグリーン系を基調に青、ピンク、紫、黄色の花を表現。絣のテーブルセンターは、上下に配置した4本の白い線が経絣（たてがすり）です。どちらも織りの技法を使い一枚一枚手織で作りました。リビングのテーブルを華やかにします。 Table Centerpiece The floral-patterned table centerpiece features green as the primary color, with blue, pink, purple, and yellow flowers expressed in the design. The Kasuri-patterned table centerpiece features four white lines placed vertically, representing the warp Kasuri. Both centerpieces were handwoven individually using weaving techniques. They add a touch of elegance to your living room table.	

ランチョンマット

上下に 4 本の白い線が経緋（たてかすり）です。一枚一枚手織で作成しました。食事やコーヒータイムのランチョンマット又は置物の下敷物としても使えます。

Luncheon mat

This luncheon mat features four white lines running vertically from top to bottom. Each mat has been individually handwoven. These mats can be used as placemats for meals and coffee time, or as decorative mats to place underneath objects. decorative mats to place underneath objects.



緋の靴ひも

着物用の布の端切れを利用して靴ひもを作りました。端切れを縫い合わせて作成している為、左右違う紐になっています。自分の靴をオリジナルにリメイクしよう！

Kasuri Shoelaces

We have created shoelaces using leftover fabric pieces from kimono. Because the laces are made by sewing together fabric scraps, the left and right laces are different. Remake your shoes into an original design!



ポーチ

着物用の布の端切れを利用して小さなポーチを作りました。小物入れとして琉球緋、南風原花織の柄と手触りを楽しんで頂けると嬉しいです。

Pouch

We have created small pouches using leftover fabric pieces from kimonos. We hope you enjoy the patterns and textures of Ryukyu Kasuri and Haebaru floral weave (hanaori) textiles as small accessory pouches.



着物の根付け 着物用の布を利用して小さい着物を作りました。着物と帯の色合わせや柄を楽しんで頂けると嬉しいです。 Kimono Netsuke (Decorative Kimono Accessories) We have created small kimono using fabric intended for full-sized kimono. We hope you will enjoy the color combinations and patterns of the kimono and obi (sash).	
絣コースター 大きな絣柄のコースターを作りました。組合では織物体験に活用しています。緯糸（よこいと）を1本1本織り込むたびに絣の柄が完成していく体験ができます。 Kasuri Coasters We have crafted coasters with large Kasuri patterns. At our workshop, we use them for weaving experiences. Participants can witness the Kasuri pattern gradually taking shape as they weave each individual weft thread into the fabric.	

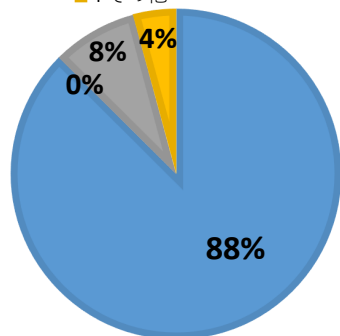
友好都市締結20周年記念式典 アンケート調査

調査対象：レスブリッジ市関係者・ミドルスクール校長先生・ホストファミリー・沖縄県人会等

1. 記念式典について

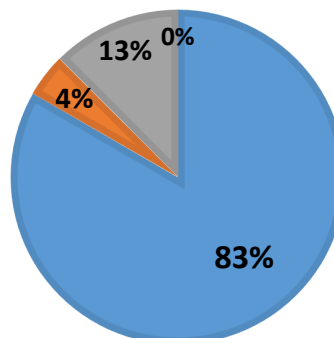
Q1.相互理解が深まったと思いますか

■ 1 そう思う
■ 2 そう思わない
■ 3 どちらともいえない
■ 4 その他



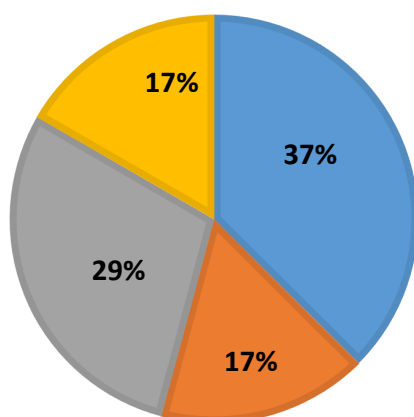
Q2.南風原町に訪れたいと思いますか

■ 1 そう思う
■ 2 そう思わない
■ 3 どちらともいえない
■ 4 その他



Q3.特に興味を持ったものは何ですか

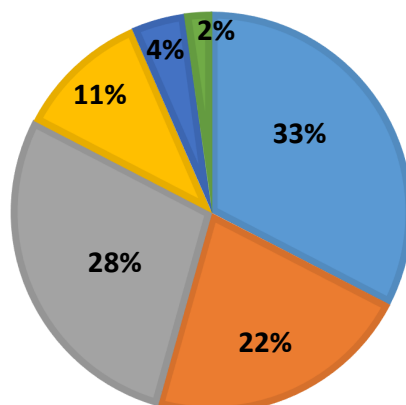
■ 1 伝統芸能
■ 2 南風原町特産品
■ 3 交流のあゆみ
■ 4 その他



2. 伝統芸能について

Q1.興味・関心を持ったものは何ですか。

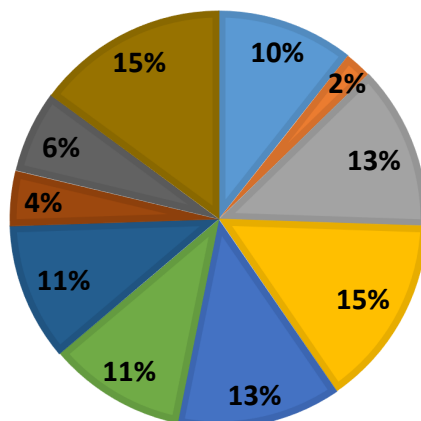
■ 1 琉球舞踊
■ 2 舞踊の衣装
■ 3 琉球音楽
■ 4 カチャーシー
■ 5 その他
■ 6 未回答



3. 町特産品について

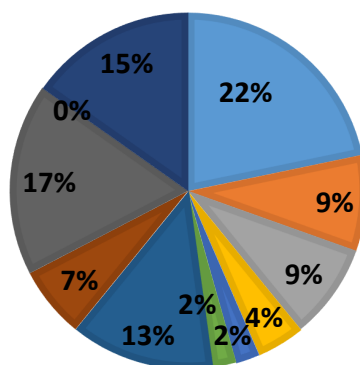
Q1.特産品で特に興味を持った物は何ですか

- 1 831ジャム（とまと・へちま・かぼちゃ）
- 2 やさいせんべい（ニラ・カボチャ）
- 3 リキュール宵の紅茶
- 4 瑞泉泡盛「南風原」
- 5 おきなわラベンダーバーム
- 6 アロマのひやけどめ
- 7 たまごパウンドケーキ、子亀せんべい（醤油・梅・塩）
- 8 琉球絣（ランチョンマット・コースター・ポーチ・靴紐）
- 9 南風原花織テーブルセンター
- 10 未回答



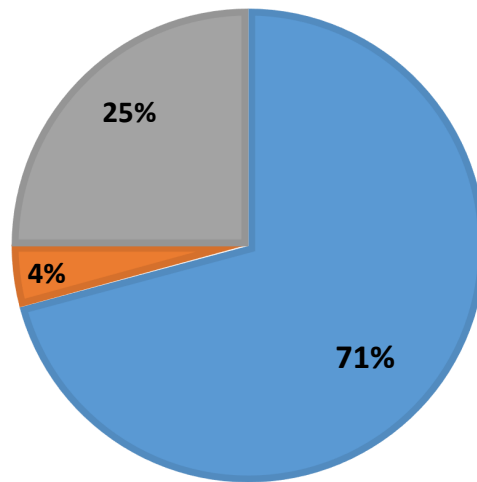
Q2.選んだ理由

- 1 味が良い
- 2 見た目が良い
- 3 品質が良い
- 4 価格が手ごろ
- 5 パッケージデザインが良い
- 6 環境にやさしい
- 7 健康に良い
- 8 自然素材を使っているから
- 9 南風原町の文化を感じられるから
- 10 その他
- 11 未回答



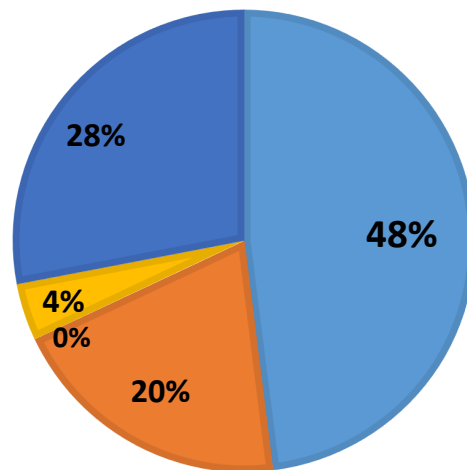
Q3.南風原町の特産品を購入したいと思いますか

■ 1 はい ■ 2 いいえ ■ 3 未回答



Q4.今後どのように特産品を購入したいですか

■ 1 オンラインストア ■ 2 スーパーマーケット ■ 3 百貨店 ■ 4 その他 ■ 5 未回答



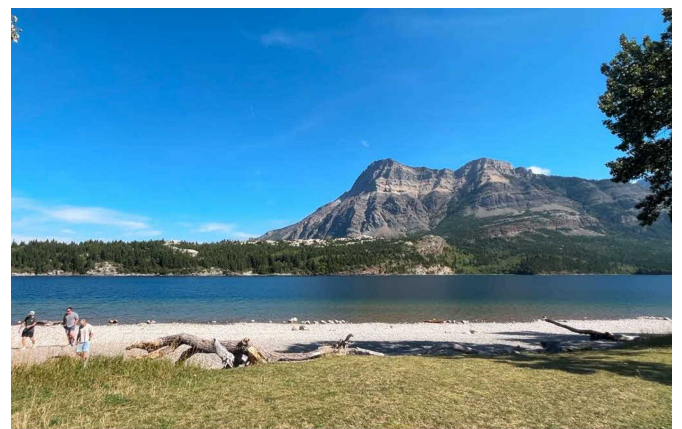
【9月4日（水）世界遺産 ヘッド・スマッシュト・イン・バッファロージャンプ視察】

先住民ブラットフット族がバッファローを追い詰め崖から突き落として仕留める狩猟を行っていた場所で、資料館を視察し、長く続く狩猟民俗の伝統的な文化を学ぶことができました。



【9月4日（水）世界遺産 ウォータートン国立公園視察】

カナダとアメリカの国境にある珍しい公園で、冬は分厚い氷に覆われてしまうため、夏の3ヶ月半しか訪れることができません。今でも氷河が削り続けているという渓谷や、湖などを含む広大な自然が魅力的な公園を視察しました。



【9月5日（木）ヘリテージパーク視察】

18世紀前半のカナダ西部の村が再現されており、西部開拓時代の面影を見ながらカナダやカルガリーの歴史を学びました。



【9月5日（木）～6日（金）：移動日】

カルガリー空港では、カルガリー県人会の皆さんがお見送りしてくださいました。



国際交流拠点ネットワーク推進事業において、友好都市締結20周年の節目にレスブリッジ市を訪問し、レスブリッジ市及びレスブリッジ市県人会からの歓迎のほか、カルガリー県人会など多くの皆様に暖かく迎えていただきました。

移動の手配や会場準備等の調整など、同行して頂いた添乗員や現地ガイド、県人会の方など、様々な方の助けがあり、大きなトラブルもなく無事に事業を終えることができました。

南風原町とレスブリッジ市は、平成15年度（2003）に友好都市を締結し、青少年国際交流事業など、教育・文化・スポーツを通して相互交流を続けてきました。ですが、友好都市締結当時のレスブリッジ市関係者が変わったことや、新型コロナウイルスの影響で青少年国際交流事業も実施できないなど交流が途絶えていました。

そこで、友好都市20周年の節目にレスブリッジ市を訪問し、記念式典の開催や県人会との交流を通して、友好都市の関係が今後も発展し続けるよう再確認することができました。また、今回は新たな取り組みとして、町特産品の紹介、琉球舞踊を披露することができ、青少年のみならず文化交流・産業振興に繋げることができたと思います。

今後は、友好都市関係を継続してだけでなく、若い世代に繋げていけるよう取り組むとともに、町民の皆様にも周知していきます。

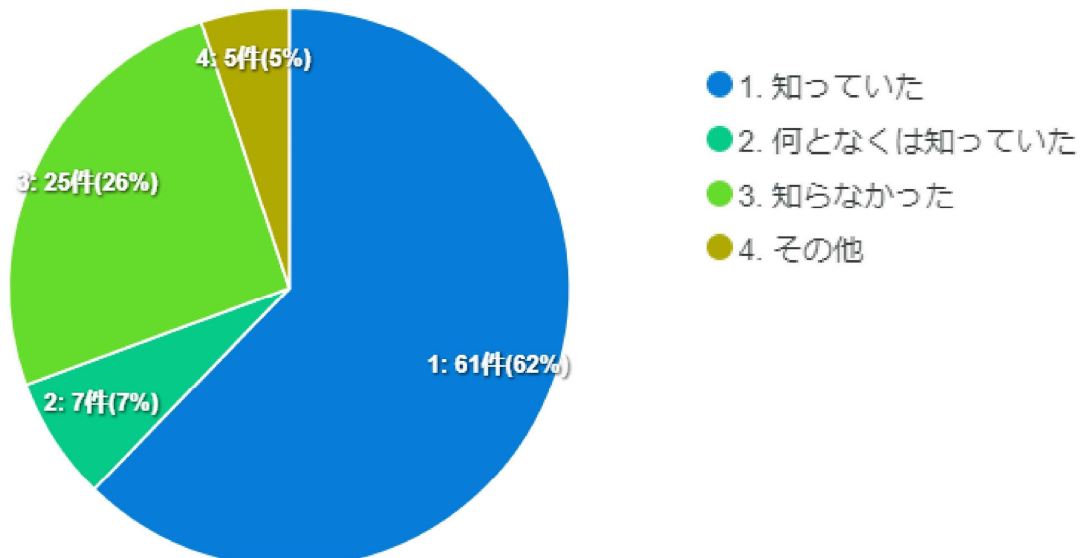
第22回はえばる2024ふるさと博覧会（11/2～3） 友好都市ブース展示

はえばるふるさと博覧会において、友好都市ブースを開催しました。ブースでは、友好都市締結20周年記念事業のほか、レスブリッジ市の紹介や交流のあゆみについての資料を展示しました。ブースを訪れた方々へアンケートを実施したところ、約60%の方が、南風原町とレスブリッジ市との交流に特に関心を持ったと回答し、83%の方が国際交流に対して以前より関心を持ったと回答しました。

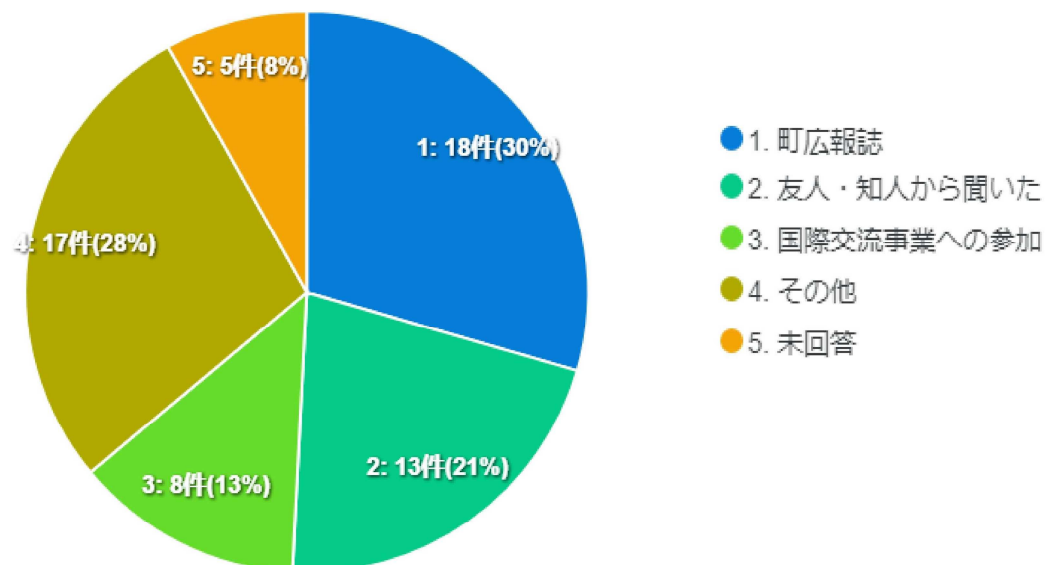


はえばるふるさと博覧会 友好都市ブース アンケート調査

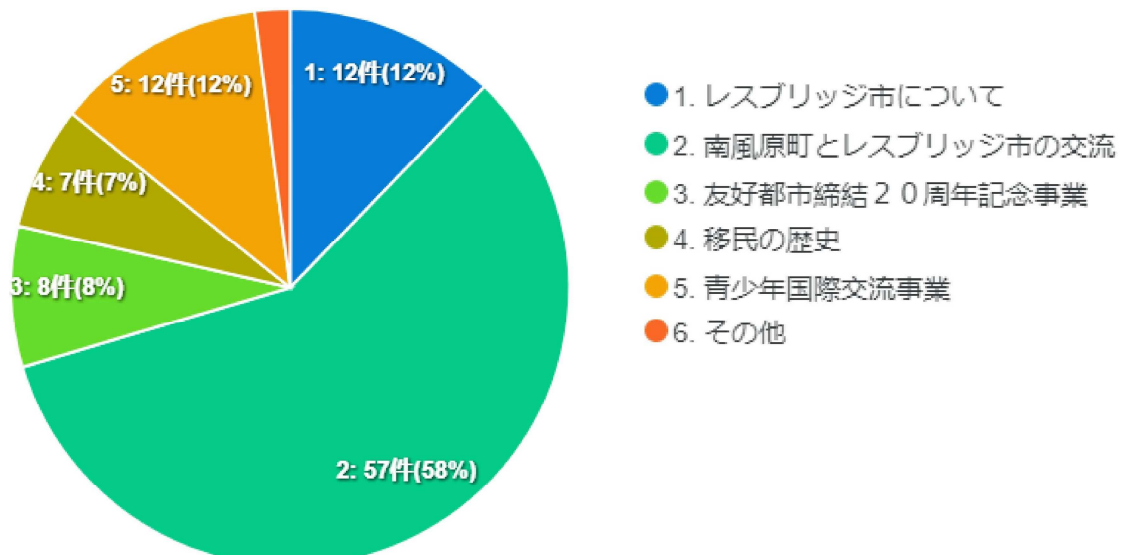
レスブリッジ市との友好都市関係について知っていましたか。



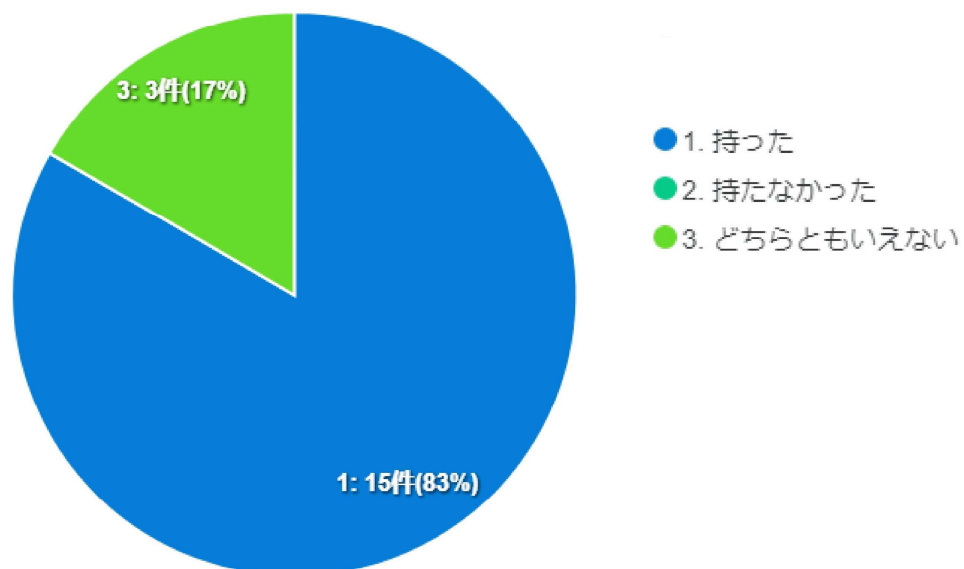
[知ったきっかけを教えてください]



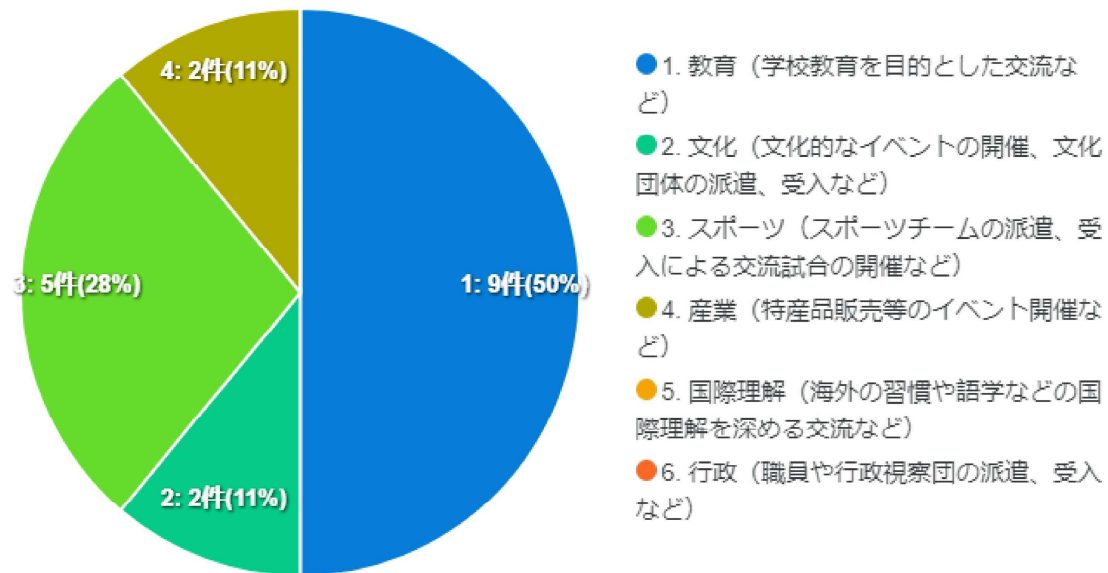
ブースを訪れて特に関心を持ったことは何ですか。



国際交流に対して以前より関心を持ちましたか。



今後どのような分野の交流が必要だと思いますか。



レスブリッジ市・南風原町友好都市締結記念事業 企画書

概 要

- 【名称】 レスブリッジ市・南風原町友好都市締結 20 周年記念事業
 【日時】 令和 6（2024）年 9 月 1 日～9 月 6 日
 【場所】 カナダアルバータ州レスブリッジ市

目 的

南風原町と友好都市を締結しているカナダ国アルバータ州レスブリッジ市との友好都市締結 20 周年記念事業を開催し、青少年国際交流事業などの継続や、町の伝統芸能披露や町の特産品を PR し、文化交流、産業振興につなげる等、今後の更なる相互交流を深める。

また、沖縄県人が多く移り住んだことなどを生かし、世界のウチナーンチュネットワークの継承・発展及び交流ネットワークを生かす国際交流拠点の形成に繋げる。

事業の詳細

沖縄県南風原町とカナダ国アルバータ州レスブリッジ市は、友好都市以前から青少年国際交流を行っており、平成 15 年（2003 年）に友好都市を締結した。令和 5 年（2023 年）に友好都市 20 周年を迎えたが、世界的な新型コロナウイルス感染症の影響で記念事業を開催できなかったため、今回、友好都市 20 周年記念事業を開催する。

記念式典においては、レスブリッジ市と南風原町の友好のあゆみを振り返り、レスブリッジ市及び関係者に感謝の意を伝えるとともに、南風原町の伝統芸能披露、町産品の紹介を行い今後の更なる交流に繋げる。

交流の経緯

沖縄県から 1900 年にカナダ移住が始まり、1907 年にレスブリッジ市を中心にハーデビル、コールデル、ピクチャビュートで 152 人が炭鉱夫、鉄道工夫などの仕事において活躍し、また、活躍した日系人のなかでも沖縄県出身者が多かったという歴史があり、1967 年に日加友好庭園がレスブリッジ市に誕生したことが日加友好に繋がっている。

その後、1946 年の終戦後にはレスブリッジ市から約 30 世帯が沖縄県に帰国することになったが、レスブリッジ市や多くの市民が引きとめ、食料や衣類、医薬品、金銭などの援助をしてくれた。

そして沖縄に帰国した人たちにより、1946 年に今日の沖縄カナダ協会が誕生しました。また、1948 年にレスブリッジ市住民が在カナダ沖縄救援連盟を立ち上げ、1952 年まで沖縄県民は支援を受けたという歴史があり、今日までカナダレスブリッジ市民と沖縄カナダ協会には感謝と絆を感じている。

沖縄県では、毎年 6 月 18 日を移民を受け入れた国や国民への感謝と絆から、移住を受け入れた国の国旗を掲揚し、祝賀会を行っており、南風原町からも毎年町長及び職員が参加している。

平成 12 年（2000 年）に開催された九州・沖縄サミットの際には、ジャン・クレティエン元首相が南風原町を訪問し、サミット後の平成 13 年（2001 年）には、本町にある県内唯一のアイスホッケー場で、レスブリッジを中心にバンクーバーやカルガリの 2 世から 4 世の合同チームとカナダ・

沖縄アイスホッケー親善試合を開催するなど積極的に交流を続けている。

その後平成 15 年（2003 年）に友好都市を締結し、令和 5 年（2023 年）で 20 周年を迎えた。締結後も、平成 18 年（2006 年）のレスブリッジ市 100 周年記念式典への参加、平成 29 年（2017 年）のクリス・スピアマン市長や、議員を代表としたレスブリッジ市代表団の来町、隔年で青少年国際交流事業を行っているなど、レスブリッジ市と南風原町は教育・文化・スポーツ等を通して相互交流を続けてきた。特に子どもたちは、レスブリッジ市でのホームステイや交流の経験を生かし、現在も様々な分野で活躍しており、沖縄カナダ協会で活動している方もいる。令和 6 年度（2024 年）秋頃に青少年国際交流事業で中学生をカナダへ派遣することを予定している。

特記事項

【式典参加予定者】

レスブリッジ市関係者、在カルガリー日本国総領事、レスブリッジ沖縄文化協会、レスブリッジ沖縄県民間大使関係、ミドルスクール関係者、ホストファミリー、日加友好庭園関係者、南風原町関係者、その他協力者

派 遣 報 告

団長 南風原町長 赤嶺 正之

南風原町とレスブリッジ市が、令和5年度で友好都市締結20周年を迎えたことを記念し、9月1日～6日の期間にカナダ レスブリッジ市を訪問しました。

レスブリッジ市において記念式典を開催し、友好都市締結に尽力された方々や、交流を支えてくれたホストファミリーへの謝意を伝えるとともに、町産品や伝統芸能を披露するなど、南風原町の魅力を知ってもらう貴重な機会となりました。また、友好都市締結確認書を交わし、お互いが友好都市であることを再確認できたことで関係がより強固なものになったと思います。

記念事業の一環として、マウントビュー墓地・アーチマウント墓地を訪問し沖縄県系移民の歴史を学びました。さらに、日加友好庭園では日本とカナダの友好の歴史、レスブリッジ市役所では、市の歴史や市議会について学びました。教育・文化・経済など、さまざまな分野での交流は、相互理解を深める重要な基盤となります。これからもお互いの魅力を尊重し合い、南風原町とレスブリッジ市の友好関係が発展していくよう取り組んでいきたいと思っています。

今回の訪問では、レスブリッジ市及びレスブリッジ県人会からの歓迎の他、カルガリー県人会など、多くの皆様に暖かく迎えていただきました。今後も、友好関係を継続してだけでなく、若い世代に繋げていけるよう取り組んでいきます。

最後に、本事業の成功にご協力いただいた関係者の皆様にお礼を申し上げ、派遣報告とさせていただきます。

副団長 南風原町議会 議長 赤嶺 奈津江

南風原町とカナダレスブリッジ市が令和5年度で友好都市締結20周年を迎えたことから、議会から公務として初めての派遣だと思います。今回、レスブリッジ市役所で議会担当者に案内(庁舎・歴史・儀仗等)をしていただき、歴史、文化、政治の違いを感じることができました。議会・議員も継続していくことができれば、相互理解にも繋がり、友好都市の交流を継続していくことにも繋がるのではないかと感じました。特に、記念事業などの際には是非一般からも募り、ツアーを組んでほしいと思います。これまでの交流に大きく関わってくださった方々が高齢化してきているので、若い世代へ繋げていくことが必要だと感じました。

南風原町商工会 会長 金城 宏孝

南風原町の特産物を選び、カナダレスブリッジ市で紹介してきました。

商品については、聞き取りとアンケートで返事をもらいました。カナダの方にとって初めて食するものが多く、おいしく楽しんでもらえたと思います。

かすり、花織は琉球絃の女王の方々のPRがとてもうまく行ったと思います。南風原町の琉球芸能を知ってもらえて、レスブリッジ市の皆さんが感動していました。

カナダのレスブリッジ市と20周年を迎え、今回の事業で今後の友好関係が長く続くと思います。行政の交流から、議会、文化芸能、経済界の今後益々の相互交流ができるよう期待します。

南風原町商工会 事務局長 豊里 友一郎

沖縄サミット時の南風原訪問から始まった交流が、行政レベルで継続していることに意義があると感じた。実際に訪問することによって、現地の地理的・人的環境を体験できたことは商品展開のプラスとなると思う。県人会の存在も大きく、彼らを通した市場浸透の可能性はあると感じた。今後は、民間レベルでの交流も実施できれば、さらに交流を深め継続的なものに発展できると思います。

カナダ現地の食事やつまみを実際に食したが、味が濃く、スーパーで流通している商品（加工品）は色鮮やかで容量の大きなものが多数でした。また、輸送コスト、関税、ある程度の生産数の担保、現地で好まれる味への対応等を勘案すると、カナダへの食品の展開は難しいと感じました。一方で、非食品に関しては、商品の説明が十分な場合（今回は、ラベルは通常のままであったが、通訳を介して説明ができた）は、展開が可能であると感じました。

また、カナダへ展開する際は商品単体ではなく、伝統芸能を活用したプロモーションが有効になると感じました。

南風原町商工会 上里 彰宏

町特産品 PR を通して、レスブリッジ市関係者の反応は概ね好評であったと感じます。購入できる場所やオンライン購入可否等の質問を多く頂きました。実際に輸出販売となる場合には、小規模事業者のみでは対応が難しいと思いますので、商工会として支援していきたいです。カナダレスブリッジ市と沖縄、南風原町との歴史、交流について学びが多くあった。

今回の事業はレスブリッジに対して南風原町を広く PR できたと思うので、今後も円滑な国際交流に繋がればと思います。

沖縄カナダ協会 会長 大山 盛稔

「感謝」と「絆」の南風原町とレスブリッジ市、友好都市締結 20 周年を迎え、心からお祝い申し上げます。

今回、赤嶺町長、赤嶺議長、金城商工会長をはじめとする南風原町の皆様と、沖縄カナダ協会として参加させていただき大変感謝申し上げます。

私のなかで、2000 年九州・沖縄サミットでのカナダ政府、アルバータ州政府と沖縄県南風原町との交流が奇跡の連続でした。南風原町からクレティエン首相をお呼びしたいと連絡を受け、2000 年はカナダ沖縄移民 100 周年という節目でもあったことから、カナダ大使館、アルバータ州政府に協力をお願いし、私の一歩が始まりました。南風原町へ首相を招聘するのに高額な旅費が壁となったため、沖縄カナダ協会から、カナダ大使館、アルバータ州政府、カナダの旅行社及び航空会社に協力をお願いし、211 名がカナダへ行くことができる料金まで調整してもらいました。その後、カナダと沖縄の 100 年続く歴史をカナダ政府に理解いただき、カナダ首相を南風原町へ招聘することができました。2000 年のカナダ沖縄移民 100 周年記念式典にカナダ・アルバータ州レスブリッジ市において、沖縄県から石川副知事並びに沖縄県議会議員の皆さんのご臨席をいただき、沖縄とレスブリッジとの絆を肌で感じていただきました。その後、私からお願いを申し上げ、南風原町にレスブリッジ市を紹介することになりました。

2001 年には、第 3 回世界のウチナンチュ大会プレイベントとして、南風原町にある県内唯一のアイスホッケー場で、レスブリッジ市を中心とした移民 2 世から 4 世の合同チームと、アイスホッケー親善試合を開催するなど積極的に交流を行いました。また、沖縄カナダ協会から、アルバータ州東京事務所を通してレスブリッジ市に南風原町との相互交流をお願いすると同時に、レスブリッジ沖縄文化協会に子ども達のホームステイ受入をお願いしました。そのことに

より、隔年で青少年国際交流事業を行っているなど、レスブリッジ市及びレスブリッジ沖縄文化協会と南風原町は、教育・文化・スポーツ等を通して相互交流を続けています。特に子どもたちは、レスブリッジ市でのホームステイや交流の経験を生かし現在も様々な分野で活躍しており、沖縄カナダ協会で活動している方もいます。南風原町とレスブリッジ市、そして沖縄とカナダの友好関係が途絶えないよう、若い世代へ継承していくことが重要です。

今回の事業では、これまで友好都市交流の継続に尽力いただいた方々へ謝意を伝えることができ、また文化・商工における交流で今後の更なる相互交流に繋げることができたと思います。

南風原町とレスブリッジ市の友好関係が今後も益々発展するよう、沖縄カナダ協会として最善を尽くしていきたいと思います。

南風原町文化協会 高嶺 久枝

国際交流拠点ネットワーク推進事業として、「南風原町とレスブリッジ市友好20周年記念式典」に参加する機会に私達は恵まれました。

2日目でまず訪れた「マウントビュー墓地」で、戦後、沖縄からの移民でカナダの地に渡り、古里沖縄の人々に薬（ペニシリン等）を送り沖縄県の多くの人々の命を救ったという恩人のMKISI墓碑へ、そして、そのご子孫の皆さんと共に、また、我が身も苦しい中お金を集め沖縄県の復興にと寄付金を送ったというMIYAGI墓碑へお参りすることからはじまり、事業日程は感謝からはじまりました。また、先達の移民時の話などを見聞きしたことは、市庁のフロアーや式典舞台上での心の持ちよう、メッセージになりました。

9/3日の市庁舎訪問（9時）庁舎は働きやすさ、守秘・便利さ等の工夫が多々あるよう綿密に設計されていたことは印象的でした。議場視察での驚きには議員は9名であるという。（市の動きには徹底された町並みの美化がありました）

16時：式典開始（幕開け）で、式の盛会を祈りつつ舞わせていただきました。
その文化協会のウムイ（思い）はフィナーレのカチャシーの盛り上がりにつながったと思います。私達は任務を果たせ、恩返しの一つになれたと思いました。

南風原町文化協会 大城 守政

南風原町とカナダレスブリッジ市が令和5年度で友好都市締結20周年を迎えたことから、文化協会として参加させていただきました。今回、レスブリッジ市役所で議会担当者に案内(庁舎・歴史・儀仗等)をしていただき、歴史、文化、政治の違いを感じることができました。議会・議員も継続していくことができれば、相互理解にも繋がり、友好都市の交流を継続していくことにも繋がるのではないかと感じました。これまでの交流に大きく関わってくださった方々が高齢化してきているので、今後も継続していくための方策が必要と感じました。

南風原町文化協会 上地 健

レセプションでの芸能披露「唄、三線」での参加でした。舞踊の選曲が良かったかと思います。現地の皆様の反応が良かったと、感じました。文化協会としての役目は無事に果たせたと思います。

レスブリッジ市と南風原町の繋がり、交流や戦前、戦後のカナダ沖縄県人会の貴重な歴史を知ることができました。特に、戦後県人会が中心になって薬品等を沖縄へ送った事については、初めて知りました。

レスブリッジ市、南風原町が、今後更なる親交が深まり、次世代へ繋げて頂ければ幸いです。レスブリッジ市庁舎訪問、友好都市20周年記念式典や、大山会長、洲鎌さんなど、素晴らしい話を頂き充実した派遣となりました。

南風原町文化協会 與那嶺 靖

カルガリー空港到着時、県人会の皆様の熱烈な歓迎に感動、遠く離れたカナダに多くの県人が暮らして活躍してることを知りました。100 年以上前に牧志あんのさんと言う方が県人の中心になり、コミュニティを作り、今に続いている事、戦後彼らが郷里沖縄の窮状を知り、救援物資を送って下さった事、特に当時万能薬といわれたペニシリンを送って下さった事に感動しました。

今回の交流事業で郷土芸能を披露して県人の皆様に喜んで頂き、また南風原町の国際交流に少しでも貢献出来た事は、文化協会郷土芸能部の一員として大きな喜びです。方を海に囲まれたちいさな沖縄からでも、志ひとつで無限に人生が広がり、広い世界で活躍出来る可能性がある事を感じました、若い世代の皆様が国際交流推進事業を通して広い世界を知り、将来、南風原町の発展につながる人材に育つ大きなきっかけになるような感じを受けました。

南風原町文化協会 砂川 美鈴

レスブリッジ市との友好都市 20 周年おめでとうございます。20 周年記念事業を企画を進めるにあたり、国際との連携、連絡等が大変だった様に感じ、本当にお疲れさまでしたとの思いでいっぱいです。

私達文化協会が伝統芸能を通じて、もっと親密に友好関係が深められるようにとの思いで、精一杯踊らせてもらいました。一緒に同行させていただきありがとうございました。町政の文化継承に力を注いでいることに感謝し、これからも南風原町でも頑張っていきます。各所属の方々との交流が出来たことや、この機会にもっと南風原町が力を合わせて更に住みやすい町になったらいいなと感じました。

南風原町文化協会 大城 みゆき

令和6年9月1日～9月6日の日程で、カナダアルバータ州レスブリッジ市で開かれた、友好都市締結20周年事業に参加してきました。友好都市締結以前から続いている青少年国際交流事業の継続はもとより、今回伝統芸能や特産品のPRを通して、文化交流、産業復興等、今後さらなる相互交流に繋げることを目標としており、私を含めた8人の文化協会のメンバーは、琉球芸能の中から古典踊り、雑踊りを披露しました。琉球芸能を初めて見る方、懐かしくて涙ぐむ方、そして多くの方が、歌・三線の音色に酔いしれ、艶やかな衣装と踊りに圧倒されていました。フィナーレはカチャーシー。全員の心が1つになった瞬間でした。

今回もう一つの目的である、カナダレスブリッジ市の文化、歴史、産業等の視察学習を通し視野を広げることも大いなる収穫でした。とくに、移民の話では、終戦後、沖縄へ食料や医薬品等の援助をしていたという事実をはじめて知り、語り継いで行かなければならないと認識させられました。

南風原町文化協会 赤嶺 香

今回、南風原町文化協会を代表して琉球舞踊を披露してきたことに感激しています。流派を超え練習してきたこと、また衣装や小道具を用いて沖縄の文化を舞踊によって伝えられたと思います。

涙を流しながら私たちの踊りを見られて、沖縄を懐かしく思い出したと嬉しそうに感謝してくれました。最後のカチャーシーでは、レスブリッジ市長をはじめみんなが両手を挙げて踊る姿は皆嬉しそうで、客席と舞台が一体になったように思いました。今回は踊り4演目でしたが、もっと披露できたらと思いました。

今回のカナダ・レスブリッジ市との交流において、日本庭園があることに驚き、

日本への関心の高さ、特に沖縄文化も紹介されていたことは誇りに思いました。レスブリッジ市庁舎の見学や、レスブリッジ市の歴史を学べたこともとても良かったと思います。見学後の歓迎の舞で、工作中にも関わらず私たちの踊りを見てくださったことに感激しました。沖縄県人がはるか彼方のカナダの地で、開拓し苦勞されていたことは知っていましたが、その子孫である二世、三世は日本語は分からないけど、心は十分うちなーんちゅで先人たちの思いを受け止めてそして伝えていたことは知りませんでした。

南風原町文化協会 仲本 和美

レスブリッジ市長表敬訪問では、沖縄の伝統芸能である琉球舞踊を披露し市庁舎関係者の方々から温かい歓迎を受けました。その後レスブリッジ市の歴史を聞きながら、市庁舎内を見学し大変貴重な経験が出来ました。

式典では、かぎやで風、四ツ竹、前ヌ浜、加那よー、谷茶前を披露しました。踊りが始まると、参加者の方々は興味深く見入っていました。私は、四ツ竹を踊りましたが、やはり花笠と紅型は華やかでとても喜ばれている印象を受けました。また、式典の参加者の方から、谷茶前などの雑踊りが楽しくて良かったと嬉しそうに話されていました。最後のカチャーシーも、皆さんとても楽しそうに踊られていて、素晴らしい式典になったと思います。

式典とは別に、文化交流として三線や琉球舞踊の体験の時間を設けてもらい、県人会の方々やレスブリッジ市民の方々と交流し合える機会があれば良かったかなとも思いました。

琉球絣の女王 神谷 菜月

表敬訪問では絣のユニフォームを着用し英語でスピーチをしたり、記念式典では絣の着物を着用して参加者の受付や表彰式でのアテンド、スピーチでは絣の着物の説明などをしました。

琉球絣の女王に選ばれた際に、レスブリッジ市が友好都市という事は知っていましたが、なぜ友好都市になったのかや、移民の方々の苦勞があり今の沖縄がある事などは実際に聞くまで知りませんでした。

今回このような機会をいただき、私が知らないだけでいろいろな繋がりがあ
る事、知らなければいけないことの多さを感じたのでこれからも少しずつ学ん
でいけたらと思っています。また、現地の方達がとても暖かく迎えてくださり感
動しました。これからもこの交流は絶やさず続いていけるように願っています。

琉球絣の女王 野添 更紗

琉球絣の女王として式典やレスブリッジ市庁舎訪問に参加させていただき、
地元の南風原町と国外のカナダレスブリッジ市との繋がりにさらに勉強、興味
を持つことができました。琉球絣も披露出来て、たくさんの方に興味を持っても
らえて嬉しいです。また、繋がり・歴史では明治時代に先人の方々がカナダへ行
き、戦後も助けて支えてくれていた恩や縁をこれからも次の世代に伝えていき
たいと思いました。

レスブリッジ市へ行き感じたことは、私たちはたくさんの方に助けられて、今
の沖縄、南風原町で過ごせているということに感謝でいっぱいです。また小さな
島「沖縄」と遠く広い「カナダ」との繋がりを知ることで、世界は広く、伝統や
文化も違いいろんな衝撃や面白さがありました。琉球絣の着物を着て、レスブリ
ッジ市の方々やカナダの方と交流できたことはすごく良い経験になりました。
南風原町の伝統文化の魅力を再度確認できました。

南風原町とカナダレスブリッジ市が令和5年度で友好都市締結20周年を迎えたことから、記念事業を開催し今後の更なる相互交流と文化交流、産業振興に繋げることを目的に、9月1日～9月6日の期間カナダレスブリッジ市を訪問しました。

町とレスブリッジ市は平成15年の友好都市締結以降、青少年国際交流事業を続けてきましたが、友好都市締結に尽力された方々や国際交流事業に協力して頂いたホストファミリーなどへの謝意を伝える機会が無かったので、友好都市20年の節目に記念事業を実施し記念式典で謝意を伝えることができました。また、レスブリッジ市においても、市長をはじめ職員も議員も変わり、友好都市締結当時の状況を知っている人が少なくなる中、今回、町がレスブリッジ市を訪問し、記念式典の中で友好都市として今後も相互交流を続けていくための確認書を交わすことができたことで、お互いが友好都市である事を再認識し、今後も継続した相互交流が可能になったと考えています。さらに、今回は新たな取り組みとして商工会による町製品の紹介、町文化協会の琉球舞踊を披露できたことで、青少年国際交流事業以外の交流を深めるきっかけになったと思います。

レスブリッジ市では記念事業の一環として、マウントビュー墓地・アーチマウント墓地を訪問し沖縄県の移民の歴史、日加友好庭園では日本とカナダの友好の歴史、レスブリッジ市役所では市の歴史について学びました。レスブリッジ市の歴史は深く、友好都市として交流を続けていくためには、まず、お互いの歴史について学ぶ必要があることを再認識しました。

今回の訪問ではレスブリッジ市及びレスブリッジ市県人会からの歓迎の他、カルガリー県人会の方々も空港まできていただく等、暖かく迎えてもらいました。今後もレスブリッジ市との友好都市の関係を継続するとともに、町民の皆様にも情報共有していきたいと考えています。

最後になりますが、本事業の成功にご協力頂いた関係者の皆様にお礼を申し上げ、派遣報告とさせていただきます。

南風原町とレスブリッジ市が2023年で友好都市締結20周年を迎えたことから、更なる相互交流を深めることを目的として9月1～6日までレスブリッジ市を訪問しました。

記念式典を開催し、町伝統芸能の披露や町特産品のPRを行うなど文化・経済等における交流を図りました。また、友好都市締結に尽力いただいた関係者や青少年国際交流事業に協力いただいたホストファミリーへ謝意を伝えるとともに、町の紹介やこ交流を振り返るなど今後の交相互流に繋げることができたと思います。また、友好都市関係が発展し続けるよう確認書を交わすことができ、強固な友好関係となったと考えています。また、記念式典の開催は青少年国際交流事業の継続や、今後の様々な交流に繋がるきっかけとなったと思います。

記念事業の一環として、沖縄県系人が眠る墓地（マウントビュー墓地・アーチマウント墓地）を献花・参拝し、移民の歴史を学びました。沖縄からカナダへ初めて移民した牧志安能さんの親族にもお会いすることができ、貴重な機会となりました。また、牧志さんの親族は移民3世で高齢となっており、当時の状況を知っている方々が少なくなっていると感じました。

レスブリッジ市関係者や友好都市締結に尽力いただいた方々、沖縄県系人の方々に直接お会いし交流できたことは、青少年国際交流事業の継続や更なる友好都市関係の発展に繋がったと思います。

今後も継続して様々な交流を行い、レスブリッジ市との友好関係を絶やさないことが重要だと感じました。

今後もレスブリッジ市との友好関係を継続していくために、町民への周知等を積極的に行っていきたいと思います。

9月1日から6日までの6日間、国際交流拠点ネットワーク推進事業の事務局職員として町長、議長、沖縄カナダ協会会長、町商工会、文化協会、琉球絃の女王と共にカナダ レスブリッジ市を訪問しました。

9月3日に、レスブリッジ市役所を表敬訪問し、友好都市締結20周年を記念する式典を開催しました。

市役所の表敬訪問では、市役所1階のホールにて町文化協会による琉球舞踊が披露され、ホールには来庁者や市職員、市議会の議員など多くの人が集まり、約10分間の演舞後には会場から大きな拍手や歓声が沸き起こっていました。その後、町長から友好都市締結20周年について謝辞を述べた後に町の特産品である「泡盛南風原」や「琉球絃のネクタイ」などを贈呈しました。

その後は、式典会場のレスブリッジロッジに移動し、16時から記念式典を開催しました。式典にはブレイン・ヒゲン市長をはじめとするレスブリッジ市関係者やこれまでレスブリッジ市との友好都市関係構築を支えていただいた金城嘉孝氏や町の中学生を派遣する国際交流事業に協力いただいたホストファミリーの皆さまなどを多くの方に参加していただきました。記念式典では、改めて町文化協会の琉球舞踊を披露するとともに、町の特産品を紹介するブースを設置し、実際に特産品を手に取り、試食してもらうなど本町の特産品のPRを行いました。また、本町の歴史や文化、産業を紹介するパネルも展示し、本町のことをより知っていただくことができました。

記念式典の前後の日程では、「ニッカ・ユウコウ・ジャパニーズ・ガーデン」や1900年に沖縄県人としてカナダに初めて移民した牧志安能氏が埋葬されている「アーチマウント墓地」、世界遺産の「ヘッドスマッシュトイン・バッファロー・ジャンプ」などを訪問し、県人の移民の歴史や現地の文化などについて理解を深めることができました。

9月1日から6日までの6日間、国際交流拠点ネットワーク推進事業として、伝統工芸担当、そして琉球絨の女王の随員として参加しました。

出発前には、琉球絨事業協同組合、琉球絨の女王と協力し、レスブリッジ市の方々に町の伝統工芸品の琉球絨・南風原花織を知っていただけるよう、伝統工芸の紹介資料等作成し、今回の派遣の準備を行ってきました。

レスブリッジ市庁舎訪問と式典では、琉球絨、南風原花織を知っていただき、直に見ていただく良い機会となりました。また記念式典では、現地の移民の方と直接交流することができ、伝統工芸（織物等）に関する現地での需要等について意見をいただく事ができ、すごく参考になりました。また記念式典での特産品ブースにつきましては、現地の方に町産品を案内、試食していただき、南風原町の物産に興味をもっていただく良い機会になったと思います。

派遣中は、式典等以外でも現地移民の方と一緒に視察等まわることができ、当時のお話を直にお伺いし、移民の歴史等の理解を深める良い機会となりました。

カナダ移民の歴史やレスブリッジ市と南風原町の友好都市締結の経緯を知るよい機会となりました。

今回は、自治体関係者や学生派遣のホストファミリー等関係者を対象とした内容でしたが、歴史や経緯等は関係者のみではなく、町として皆に知っていただき、今後を受け継ぐべき内容だと感じたので、是非町民の方々にも知っていただく機会があればよいなと感じました。

交流のあゆみ

南風原町とレスブリッジ市は、九州・沖縄サミットを契機に、平成 15 年度（2003）に友好都市を締結し、教育・文化・経済などさまざまな分野で交流を重ねてきました。

レスブリッジ市と友好都市を締結した背景として、沖縄から 1900 年にカナダ移住が始まり、レスブリッジ市を中心に炭鉱夫、鉄道工夫などにおいて多くの沖縄県人が活躍し、レスブリッジ市に日加友好庭園が誕生したことや、1946 年の終戦後には、レスブリッジ市民から食料や金銭、医薬品などの援助があり、帰国した人たちによって沖縄カナダ協会が誕生したことなどの歴史があります。

2000 年に開催された九州・沖縄サミットでは、ジャン・クレティエン元首相が南風原町を訪問し、サミット後も青少年国際交流などの相互交流を続けるなど、友好都市を締結して令和 5 年度（2023）で 20 周年を迎えました。

2000

九州・沖縄サミット



2003

友好都市締結



2006

レスブリッジ市政
100 周年記念



2006

移民 115 周年
記念式典参加



2016

レスブリッジ市長来町



2023

友好都市締結 20 周年



2024

記念事業開催



友好都市 カナダ レスブリッジ市



カナダ アルバータ州 レスブリッジ市は、農業・牧畜が盛んで自然豊かな場所です。日本との時差はマイナス 15 時間で、南風原町との距離は 9,665Km。人口は約 10 万人、面積は約 130k m²で南風原町（約 11k m²）の約 12 倍あります。レスブリッジ市には、日本の伝統とカナダの自然が美しく融合している日加友好庭園があるなど日本人が多く住む地域です。

令和6年8月29日

沖縄タイムス

南風原町の21人 来月カナダ訪問

友好都市20周年記念

【南風原】南風原町は9月1〜6日、「友好都市締結20周年記念事業」として

カナダ・レスブリッジ市を



訪ねる＝写真。13日に町役場で結団式が開かれ、団長の赤嶺正之町長は「南風原の特産品や伝統芸能を伝える。みんなで盛り上げて交流事業を成功に導いていこう」と呼びかけた。

2000年の九州・沖縄サミットでカナダ首相が同町を訪れた縁で03年、レスブリッジ市と友好都市を締結。青少年国際交流事業などを続け、昨年で20周年を迎えたがコロナ禍で記念事業が延期されていた。

今回は町や商工会関係者、伝統芸能を披露する町文化協会の会員、琉球絃の女王ら21人が現地を訪問。100人規模の記念式典や特産品の紹介、県系移民関連施設の視察などを行う。

紙面編集・渡久地隼人

友好都市20周年で式典

南風原町長ら カナダ・レスブリッジ市訪問

【南風原】南風原町の友好訪加団（団長・赤嶺正之町長）は9月1～6日、九州・沖縄サミットを契機に2003年に友好都市を結んだカナダのレスブリッジ市を訪問し、友好都市締結20周年記念式典に参加した。昨年、友好都市締結20周年を迎えたことから、さらなる交流を深めることが目的。

同3日にレスブリッジ市で開催された友好都市締結20周年記念式典では、友好都市締結の功労者らや、南風原町の中学生を派遣する国際交流事業に協力したホストファミリーらに赤嶺町長が謝意を伝えた。南風原町文化協会による伝統芸能の披露や、町商工会による町特産品のPRを実施した。多くの参加者から「沖縄や南風原町の伝統芸能に関心を持った」という声が聞かれた。

式典の中で友好都市として今後も相互交流を続けていくための確認書を交わした。

一行は県系移民の墓地で献花・参拝し、移民の歴史について学んだ。レスブリッジ市には、第2次世界大戦時に日系カナダ人



友好都市締結20周年記念式典でブレイン・ヒゲン市長（右）と今後も相互交流を続けていくための確認書を交わす赤嶺正之南風原町長（左）＝9月3日、カナダ・アルバータ州レスブリッジ市（提供）

の強制収容所が設置された歴史があり、県人だけでなく多くの日本人の墓がある。今回、沖縄から初めてカナダへ移住した牧志安能さんの親族にも面会した。

10月下旬には、青少年国際交流事業として町中学生が同市に訪問を予定する。教育・文化・産業施設等の参観や体験学習、ホームステイの実施を予定している。